



こぐまぐみだより

2021年度3月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

冷たい風が吹く中にも少しずつ春の気配が感じられるようになりました。早いものでこぐま組での生活も残り1か月、「できないよ!」と泣いていた子どもたちも、1人で身の回りのことができるようになったり、お友だちとの関わりが増えたり、立派なお兄さんお姉さんになりました。保護者の皆様ともかわいい子どもたちの成長を一緒に見守ることができたこと、本当に嬉しく思い感謝の気持ちでいっぱいです。大好きなこぐま組が終わってしまうのは寂しいですが、残り少ない時間を元気に楽しく過ごしていきたいと思っています。

～1年間、ありがとうございました!～



～ひな人形～

ひなまつりの制作で、おだいらさまとおひなさまを作りました。保育者の作った見本を見せると「これ、なあに?」と、興味津々。おひな様とおだいら様の着物は和紙を小さく畳んで絵の具に端を浸し、にじませて着物の模様になりました。マジックを使って人形の顔を描いてみました。見本を見ながら真似をして顔を描く子や思い思いに好きなように描く子などさまざまでした。お父さん、お母さんに見せたい!はやく、かざって。」と、自分たちで作った世界でたった一つの『ひな人形』。

～ぜひ一緒に見てくださいね。～

♪おさんぽって、楽しい♪

暖かくなってきたので、最近は散歩へ行く日を増やしました。以前は手つなぎで歩くと、フラフラしてしまったり、前の子を抜かしてしまったりしていた子も少しずつ上手に歩けるようになってきました。

「しろいせんのなかだよ!」と友だち同士で声をかける姿も見られます。また、「あかはとまらだね」と、保育者に確認する姿も!今後も春の訪れを感じながら楽しんでいけたらなと思っています。ぱんだ組になると、今よりも長い距離を歩くようになります。ぜひ、ご家庭でも手をつないで歩く機会をたくさん作ってみてください♪



<お願い>

子どもたちは進級に向け幼児クラスでの活動に興味を持ちはじめています。反面、今後の環境の変化を敏感に感じ取り、甘えが強くなることもあるかもしれません。クラス移行時に見られる成長の過程ですので、あたたかい気持ちで受け止めていただけたらと思います。また、幼児クラスでは今まで以上にさまざまな活動があります。安全な環境の中で活動をゆったりと楽しめるよう、活動のしやすい服装、運動靴の大きさの再確認をお願いいたします。女の子に限りませんが、怪我につながりやすいのでワンピースの着用や飾り付きのゴムを付けての登園はご控えください。ご理解とご協力をお願いいたします。